

WAVE

vol.89
2018.11
TAKE FREE

誰もが自分らしく生きる社会を実現するために。



▲過去のパープルリボンプロジェクトから

contents

- P2 男女共同参画週間記念講演会「介護する息子たち」
- P4 interview 転勤女子のシズオカ生活
- P5 講座終了レポート
- P6 AICEL TOPICS
- P7 これからの講座のご案内

毎年11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。紫色のリボンは「暴力はいや！」と伝える“しるし”。女性会館では、パープルリボンプロジェクトとして、デートDV防止講座や女性への暴力根絶のメッセージをこめたダンスフェス、パープルリボンツリーの展示など数々のイベントを実施します。



静岡市女性会館では、女性も男性も誰もが自分らしく幸せに生きることのできる社会を目指し、課題解決型事業に取り組んでいます。困難を抱えた女性をサポートする仕組みや居場所づくり、講座の実施に加え、地域のセーフティネットのひとつとして静岡市女性会館が機能することを目指しています。

編集・発行

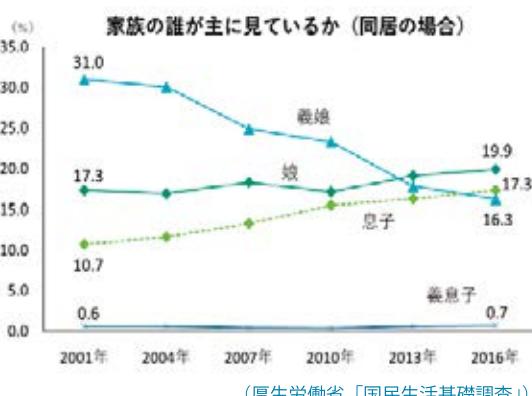
静岡市女性会館

ひとりで頑張らない多くの人を巻き込んで

東京都健康長寿医療センター研究所
研究員 平山亮さん

1979年神奈川県生まれ。2005年東京大学大学院博士課程修了、11年オレゴン州立大学大学院博士課程修了。現在、東京都健康長寿医療センター研究所 研究員。著書に『迫りくる「息子介護」の時代 28人の現場から』(光文社新書)、『介護する息子たち 男性性の死角とケアのジェンダー分析』(勁草書房)など。

「実は、息子が親を見るのは日本史上珍しいことではなかったのです。文献によれば江戸時代、武家においては各藩に介護休業制度のような制度があり、介護は息子の努めでした。武家以外でも職場と家が離れていたたため、農業や商業、手工業など家業の間みんなで看ればいい、男か女か親族かどうかは問題ではありませんでした」



静岡市女性会館は、男女共同参画の視点から介護する男性をテーマにした講座や自主グループ支援を実施しています。今年度は「鋭い社会学者、平山亮さんを迎えて6月24日、講演会「介護する息子たち」を開催しました。男性介護者が増える中、介護放棄や虐待による悲劇も後を絶ちません。平山さんは「介護の問題はそれまでの人との関わり方の延長。男性によくある見方・関わり方の傾向を知つて、ひとりで頑張らずに多くの人を巻き込んでケアに臨みましょう」と呼び掛けました。

「息子の妻が看る」の歴史は浅い

平山さんの専門は介護ではなく、中高年男性の人間関係。職場や夫婦、友人など対人関係の調査をするうちに親との関係に着目、必然的に息子介護を研究することになったそうです。親を介護する息子たちは着実に増えている、3年ごとの厚生労働省の調査では家族の主介護者は、2000年代当初「義理の娘」が最も多かったのに対し、2016年時点では「娘」約20%、「息子」17%、「義理の娘」16%と変化している(下図)。

女性が介護を担う状況が生まれたのは近代以降、就労の形が変わったことが契機だと平山さんは説明します。通勤の必要な職業が増え、男女の賃金格差から男性が外で働き女性は家を守る、いわゆる性別分業が始まり、家にいる女性が高齢者を見るようになってきました。

「ただし、『介護は息子の妻の務め』が一般的になつたのは、どの家にも要介護者がいるようになつた戦後の経済

成長期で、歴史は浅いのです。まだ高齢者人口は限られ、きょうだいの数が多いという特別な状況でのみ成り立つ形でした。高齢者が増え続けている数が減れば、どんな男性も親の介護をする可能性がある、それが今の大いの時代です」

義理親介護は夫婦不平等

「男性が無意識にしていることが親の

介護の場面で何を引き起こすか」—そんな関心を軸に全国各地の息子介護者に聞き取り調査を始めた平山さん。ほぼ全員に共通していたのは、妻との間で介護に関する話し合いや妻の意思確認をしないまま介護に入っていたことでした。前述のデータでも「義理の息子」の割合は1%未満と低いまま。義理親の介護をめぐる男女の意識の開きは依然として大きいと指摘します。

「彼らは『妻に頼んでいない』『自発的にしてくれている』『妻は手伝ってくれるだけ』などと語ります。妻と夫、男性と女性を入れ替えてみたら、このように語るでしょうか。初めから介護者候補になつていてる妻、候補者に入つてない夫の構図が見えます。食事介助に必要な料理、着替えに必要な洗濯に加えて、息子介護者の生活周りも妻が支えていますが、介護する娘は家事を切り離せない。こうした男女不平等や夫と妻の違いに男性が気付かないと夫婦間

の溝は深まります

夫としての息子介護者に必要なのは、妻の家事負担や義理親介護「アドバイス」をしてほしたこと」「期待していないこと」をしつかり言葉にして頼むことだとアドバイスしました。

自分にどんな傾向があるか

海外や国内の調査データから、息子と娘では親の老いの受け止め方に違いがあることが

関係	事例	対策
夫との関係	・どう関わってほしいか話し合っていない ・義理親介護は家事負担の夫婦不平等に気付かない ⇒夫婦間の解決策	・「してほしいこと」「しなくてもいいこと」をコトバにして伝える（頼む）
現との関係	・衰えていないことに注意が向く ⇒不適切ケアや介護放棄など、お風呂の邊で問題が深刻化 ・状態の維持・改善が目標になる ・母親に厳しい対応になりがち ⇒「一生懸命」から「盡力」へつながる意識性	・自分の傾向を知る ・私の裏について、自己判断せず聞りの声に耳を傾ける ・きょうだいが手を出しやすいよう自慢から介護の様子を共有する ・連絡を取るのが不得手なら意識的にサポートを求める（専門知識で連絡網の中心にならうんな人を探す） ②ケアマネジャーにサポートを求める
きょうだいとの関係	・定期的に連絡を取るのに苦悩的 きょうだいの配慮に気付かない ⇒いざというとき足並みがそろわない	・親の希望を元気なうちに聞いておき、これをもとに可能な限り一層詳しく説いていく ・できるだけ多くの人を巻きこむ ・サポートの段階は具体的に
ケアマネジャーと開拓との関係	・「相談すること」＝「自分の代わりに咎を出してくれる」と思っていて、一緒に連絡を取る相談ができない。	

表「親の介護をする男性の研究事例から」(女性会館まとめ)

料理男子紹介パネル展

女性会館の今年度の男女共同参画週間は、「男性にとっての男女共同参画」をテーマにしました。

ギャラリーでは、女性会館で活動する男性のみの料理サークル5団体をパネルで紹介。併せて自慢のレシピを提供していただき、レシピ集を作成しました。会館内で絶賛配付中。



<サークル紹介>

アイセル男の料理塾（会員数8人）

【活動日】第3水曜日／夜間

メンバーは、現役世代から退職後20年のベテランまで。結成から15年以上続いている。

おやじの料理（会員数16人）

【活動日】月1回土曜日／午後

妻に介護が必要になったときに備えて発足。作った料理はお弁当箱に詰めて持ち帰っています。

楽しく料理を作る会（会員数10人）

【活動日】月1回火曜日／午後

全国年金者組合のサークルの1つです。少人数で和気あいあいと仲良くやっています。

男性料理同好会（会員数8人）

【活動日】第4水曜日／午前

メンバーが交代で「シェフ」として講師に。花見や旅行など会員同士の交流も楽しんでいます。

メンズクッキングクラブ（会員数19人）

【活動日】第3水曜日／午前

「今から（高齢）でも遅くない、始めてみよう」がモットー。助け合いながら料理をしています。



分かっていることです。息子は「親の衰えでないことに注意が向く」に対して娘は「衰えていることに注意が向く」、息子ケアは「（生活を維持・改善するために）手助けは最小限に留められる」これに対して娘ケアは「（生活を維持するために）手助けする」などの傾向が指摘されています。

田代さん家事や家族の世話をしている母親の方が、何もしていない父親より衰えが見えやすいため、息子は母親に厳しくなりがちだという報告も紹介。「息子介護は、親の生活を維持改善しようとして手助けを最小限に留める傾向がありますが、一概に悪い訳ではありません。ただ、課題になりやすいのは親の衰えを受け入れる事が遅れて介護放棄や不適切ケアにつながったり、「頑張れば戻る」と維持改善に懸命になって虐待に進んだりする可能性がある。大事な

介護者は介護の様子を他のきょうだいに伝えていない人が多い、ケアマネジャーとの相談が多い。「介護には親族と定期的に連絡を取り合うことが欠かせません。普段の生活を知っている人ができない人が多いといった傾向も明らかになります。自分からこそ緊急時に足並みがそろいます。自分が苦手だと感じたら、周囲で得意な人を探せばいいのです。よりよい介護の手がかりとなるのは、親の希望。元気なうちにどう過ごしたいか聞いておき、それを元にケアマネジャーと選択肢を探っていくといでしよう」

ケアとは「依存的 existence」の生を支えることであり、その安定には依存先を分離・分散させることが不可欠だと平山さんは締めくくりました。「多くの人を巻き込んだ方が、生きる可能性が高まる。ひとりでしない方がいいんですね」

講演後、活発な質疑応答が続きました。男3人兄弟という男性からの「兄弟間のトラブル回避策は」という質問に、「意見の違いが予め分かっていることは悪いことではない。各自の考え方を実現させる選択肢をケアマネさんに聞いた上で、対応策を考えること」とアドバイス。遠隔地で親が1人暮らしどういう男性からの「一時の活用例は」という質問には、「実際にそばにいる人にしかできないことがあります。見守りのための機器だけに頼るのは限界がある。近所の人と関係をつくっておくとい」と勧めました。

* * *

た。「多くの人を巻き込んだ方が、生きる可能性が高まる。ひとりでしなくてよい・ひとりでしない方がいいんですね」

転勤女子の シズオカ充生活

YUKO
YABE



株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 静岡支店

主任 矢部裕子さん

福島県いわき市出身。大学卒業後、千葉県内の旅行代理店に就職。2011年の東日本大震災をきっかけに退職し、現在の会社に転職。16年1月に静岡支店に転勤となり静岡市民に。現在は一般団体の営業チームで主任を務める。第14期アイセル女性力レッジ修了生。

かつて静岡市に転入してくる女性といえは「転勤族の妻」が主流でしたが、総合職に就く女性が増え、自身の転勤によって静岡市に転入する女性も増えてきました。「社内にロールモデルがない」「静岡市に知り合いがない」そんな“転勤女子”的な悩みを克服した矢部裕子さんにインタビューしました。

福島県では原発事故が起きたため、地元にいた家族は目に見えない放射線に怯える生活が始まりました。公務員の母は仕事があつて福島に残りましたが、退職していた父と弟を千葉の自分の家に呼び寄せて家族3人の生活が始まりました。会社ではキャンセルが相次ぎ、業績が悪化していましたし、先が見えず泣いてばかりの家族が心配で、こんな気持ちでは仕事を続けられないと思って退職しました。しばらくは、物資を持って、千葉と福島を行き来する生活を送っていましたが、生活していくためには働くなくてはと思って就職活動をしました。やはり、旅行业界で働きたいと思い、派遣会社の添乗専門の仕事にエントリーしたのですが、運良く親会社に正社員として就職することができました。体力的にハードな仕事です。なので、自分から「遠

乗の仕事だけでなく、営業、経理、採用、人材育成など様々な業務を経験しました。

東日本大震災のあと転職されたのですね。

福島県では原発事故が起きたため、地元にいた家族は目に見えない放射線に怯える生活が始まりました。公務員の母は仕事があつて福島に残りましたが、退職していた父と弟を千葉の自分の家に呼び寄せて家族3人の生活が始まりました。会社ではキャンセルが相次ぎ、業績が悪化していましたし、先が見えず泣いてばかりの家族が心配で、こんな気持ちでは仕事を続けられないと思って退職しました。しばらくは、物

資を持って、千葉と福島を行き来する生活を送っていましたが、生活していくためには働くなくてはと思って就職活動をしました。やはり、旅行业界で働きたいと思い、派遣会社の添乗専門の仕事にエントリーしたのですが、運良く親会社に正社員として就職することができました。

「旅行業界を目指したきっかけ、その後どのように夢を実現してきたかお聞かせください。

転勤の辞令は1ヶ月前の12月に出しました。会社が地域ごとに分社化して、自分の所属は首都圏でした。「静岡支店」と聞いて「静岡つて首宮にお客様を案内したことはありますが、知っている人もいないし、前の支店の人の中にも静岡支店の経験者がおらず、事前情報もなくて不安でした。でも、楽しみな部分もありました。

実際に住んで、働いてみて、いかがですか。

「お城の近くに住むと幸せになる」と不動産屋さんに言われて探したのですが、正直、家賃が高い。会社の地域手当は1万円以上下がったのに、家賃は上がってしまった。あと、ランチも高いですね。食べ物はおいしいけれど。

仕事では、静岡の人は地元の人同志のつながりが強いと感じました。特に出身校のつながり。企業に営業に行つてもその壁に当たることがあります。ただ、何度も足を運んでいくうちに、仲良くなつて受け入れてもらいます。

転勤女子に必要なサポートはありますか。

転勤してきたばかりの頃、静岡市主催の「女子きらっ☆メンターカフェ」に参加させてもらいました。そこで、同じように転勤で静岡に転入した女性に出会いました。その後、地域デザイン力レッジやアイセル女性力レッジに参加して、地元での活動の幅を広げることができます。出会いの場、つながりの場など「よそ者」を受け入れてくれる環境があると助かります。

これから静岡でやってみたいことは。

震災の時にたくさんの人に助けられたので、自分が関わる人たちや地域に貢献したいという気持ちが強くあります。会社でも女性が長く働いていく環境づくりに貢献できればと思っています。



県内の図書館をつなぎだ 男女共同参画企画展

2018 男女共同参画おすすめBOOK



写真上 すぐに使える展示セットを利用した浜松市立城北図書館の例

写真下 女性会館図書コーナーの展示例

回を重ねるごとに参加館が増え、徐々に定着してきていることを実感します。「行政的な課題として重要なこ



4/20～ 超入門☆カッコよく踊る♪ポップダンス

女性に対する暴力防止キャンペーンダンス「Break the Chain」の関連講座。ダンス初心者も大丈夫！毎月1回ダンスインストラクターの末吉喜恵さん（NPO法人よしよし代表）と一緒にダンスの基礎を学びながら、楽しく体を動かしました。参加者は2歳～70代と幅広く、親子や友だち同士、中・高校生、仕事帰りの会社員など様々。年代、性別を超えて、回を重ねるごと盛り上がり、11月のダンスフェスで成果を発表します。



のリストや展示に利用できるポスター・やサイン。このセットを活用して、どの館でも工夫をこらしたコーナーが設置され、県内の多くの方に男女共同参画について関心を持つていただくことができました。

6月23日～29日の男女共同参画週間に合わせて行われた「2018男女共同参画おすすめBOOK」は、静岡市女性会館をはじめとした県内の男女共同参画関連施設の連絡会が県内の公共図書館に協力を呼びかけ、男女共同参画に関する本を一齊に展示する企画展です。

4回目となる今年は呼びかけた県内102館のうち50館が実施。38館からは展示の様子を収めた写真や実施報告が届きました。連絡会が提供するのは、会が選定した男女共同参画おすすめ本

と。サポートしていただけて内容的に充実したものになった」「普段は棚に眠ってしまいがちな資料も利用者が手に取って読んだり借りたりする様子が見られ、大変良かった」「小説・エッセイ・児童書なども多く選定していただきたい」などの感想や要望も寄せられました。今後も協議を重ねておすすめしたい本を選定し、さらにリストを充実させています。

図書コーナーカウンターの前には、今も「男女共同参画おすすめBOOK」のワゴンを置いて貸出をしています。ぜひご利用ください。

講座終了レポート

7/1 男性のためのアサーティブ・トレーニング

20代～40代の男性を対象に、自分も相手も大切にする「アサーティブ」の基本を講師の大井健司さんから学びました。チェックシートで自身のコミュニケーションのくせを知り、その後自分の要望や気持ちを伝えるロールプレイを実践。大井さんは「○○すべき」の固定的な考え方方が男性の生きづらさを生み出していると話し、参加者からは「気が楽になった」「社内・プライベートで実践ていきたい」などの感想をいただきました。



7/29 大事な人を災害から守るために

駿河区役所地域総務課との共催で、地域の防災にかかわる女性の人材育成講座（全4回）を企画。そのキックオフイベントとして、誰もが参加できる講演会をオープンしたばかりの地域福祉共生センターで開催しました。講師の浅野幸子さんは、性別や立場によって災害時の困難が異なることを紹介し、男性だけでなく、多くの女性が地域の責任ある立場に就けるようにして、多様な視点で防災や地域活動に取り組むべきと話しました。



AICEL TOPICS



男女共同参画団体 活動紹介パネル展 私たちだからこそ 伝えられる！

図書コーナーの掲示板は通路に面しているため、多くの方の目に留まります。今年度は、女性会館の認定団体である男女共同参画団体の中からパネル展示を行いたい団体を募り、活動紹介とともに、自分たちが発信したい情報を展示してもらいました。4月28日～5月19日はセクシュアル・マイノリティについて理解を深める「LGBTしづおか研究会」が、7月1日～28日は静岡市成人発達障害セルフヘルプグループ「Prism Station」が、それぞれ趣向を凝らしたわかりやすいパネルを作り、展示しました。また、見た人が意見や感想を書き込める付箋を用意して、団体がそれらに答えるコーナーも設けて、双方向のコミュニケーションがとれるように工夫されていました。図書コーナーでも、関連図書を集めることによって、シナジー効果が生まれました。



将来必ず役に立つ 女性会館での インターンシップ

市内公立中学校では、働く体験を通して将来の職業観を養うことを目的に職場体験学習を実施しています。大学では、キャリア教育や就労支援の一環として学生にインターンシップ体験を推奨しています。今年度、女性会館では9月までに、中学生6人、高校生1人、大学生5人の実習生を受け入れました。

どの学生も女性会館の設置目的や事業内容の説明を聞き、関わる仕事の目標を理解してから仕事に取り組みます。中学生は図書コーナーで同世代に勧めたい本を選び、推薦文を書いた自作の帯をつけて「同世代へのおススメ本」を担当。大学生は職場で活躍する女性の人材育成講座の運営作業や性的マイノリティへの理解を広める講座の企画などを体験しました。男女共同参画について学んだことを、職業生活だけでなく、人生のいろいろな場面に生かしてほしいと思います。



祝3周年！ Jo-Shizu メンターバンク

2015年からスタートした Jo-Shizu メンターバンク（JMB）が3周年を迎えました。JMBは、静岡市近郊に住む女性たちをデータベース化し、一人ひとりが自分に適したメンターをWEB上で検索できる人材データバンクです。10月末現在、登録メンターは142人。企業で活躍する女性だけではなく、ボランティア活動をしている人、病気や離婚を経験した人など様々なライフキャリアを積んだ女性たちが登録しています。

6月9日に開催したメンターだけが参加できる「メンターフェスタ」では、3年間の歩みを振り返りながら、記念のランチを囲んで交流しました。普段はお互い会うことがないメンター同士ですが、スライドショーを見たり、「モチベーションの上げ方」を共有したりして、大いに盛り上がりました。

JMBでは、10月23日(火)より11月22日(木)まで、2018秋メンターを募集します。詳細はHPにて発表、応募を受付します。詳しくは、<https://joshizu.aicel21.jp>をご覧ください。



男女共同参画推進フォーラム ＠国立女性教育会館 カレッジ修了生と ワークショップ

8月31日、埼玉県にある国立女性教育会館で開かれた「男女共同参画推進フォーラム」にて、「講座修了生の出口戦略～グループワークの成果発表&人材バンクとのコラボ事例から～」というワークショップを開催しました。発表者は、女性会館の主要事業であるアイセル女性カレッジの担当職員と第14期の修了生の3人。当日は、ワークショップが始まるとすぐに空が真っ暗になり、大きな雷鳴とともに館内が停電に。プロジェクターやマイクが使えないなどトラブルがありましたが、何度か中断しながらも、発表することができました。カレッジ修了生が発表する頃には、無事停電が復旧。数か月前から準備をして、練習を重ねたプレゼンテーションを行うことができました。

ワークショップに参加した方たちからは、「主催者、受講者の声を聞くことができて感銘を受けた」「自信を持った前向きなプレゼンで、とても良い印象を持った」など、たくさんのエールをいただきました。

●●●● これからの講座のご案内 ●●●●

ようこそ転入さん お洒落エリア鷹匠まち歩き

結婚・転勤などで静岡市に転入してきた女性におススメのまち歩きです。ガイドは、静岡のことが大好きな女性たちが集まった「わたし流しづおか観光プロジェクト」の講座修了生「Jo-Shizu 観光アンバサダー」のグループ「まちあるきたい」の3人が務めます。

日 時	11月29日(木) 9:45～12:15
会 場	女性会館～市内中心部
対 象	概ね3年以内に静岡市に転入してきた女性 12人
ガ イ ド	まちあるきたい (Jo-Shizu 観光アンバサダー)
参 加 費	500円(軽食代)
託 児	要申込み、1歳～未就園児、子ども1人につき500円
申込み	11月5日(月) 10:00から 電話またはHPで(申込順)

LGBT 多様な性と子どもたち

今、性をめぐる教育のあり方は大きく変化しています。子どもの安心のために私たちが知りたい、実践したいことをLGBTの子ども・若者支援に長年関わっている遠藤まめたさんから、「多様な性」について話を聞き、周囲の人が何をしたらよいのか、一緒に考えます。

日 時	12月1日(土) 13:30～15:30
対 象	どなたでも 20人
講 師	遠藤まめたさん (にじーず代表)
参 加 費	無料
申込み	11月1日(木) 10:00から 電話またはHPで(申込順)

アラ還世代に贈る 今あるお金でどう生きる

人生100年時代にむけて、老後資金が気になるアラ還世代を対象に、今あるお金で老後をどう生き抜くか、新聞・雑誌・Webなどで数々の連載を持つ人気のファイナンシャルプランナーから話をうかがいます。高齢期に備えて生活プランを見直し、今からできる準備や対策について学びます。

日 時	1月11日(金) 13:30～15:30
対 象	50代・60代の男女 50人
講 師	畠中雅子さん (ファイナンシャルプランナー)
参 加 費	無料
申込み	12月4日(火) 10:00から 電話またはHPで(申込順)

申込み先・問合せ先 ▶▶▶ 静岡市女性会館 ☎ 054-248-7330 HP <https://aicel21.jp>
※会場は、記載がない限り、女性会館（アイセル21）になります。

アイセル女性カレッジ公開講座 経営者のリーダーシップと「女性活躍」

女性活躍を積極的に進める静岡県内の経営者のみなさんから、各企業の取り組みや自社の女性社員に何を期待するかなど話を聞き、経営者側と雇用される側の両方の視点から、「誰もが働きやすい職場」とはなにかを考えます。

日 時	2月2日(土) 10:00～12:00
対 象	どなたでも 20人
講 師	企業経営者、内田美紀子さん (るるキャリア代表)
参 加 費	無料
託 児	要申込み、1歳～未就学児、子ども1人につき500円
申込み	1月8日(火) 10:00から 電話またはHPで(申込順)

後悔しないための 離婚の法律知識

この講座は離婚を勧めるものでも、阻止するものでもありません。子どもがいない、あるいは子どもが成長し、養育の必要のある子(18歳未満の子)がいる女性を対象に、女性弁護士が離婚に関する法律知識をわかりやすく解説します。財産分与や年金分割などの正しい法律の知識を知り、自分自身で主体的な選択ができるように学びます。

日 時	2月23日(土) 13:30～15:30
対 象	養育の必要がある18歳未満の子どもがいる女性 20人
講 師	山本華子さん(弁護士)
参 加 費	無料
申込み	2月1日(金) 10:00から 電話またはHPで(申込順)

大学生による 男女共同参画関連卒論発表会

大学生の男女共同参画関連の研究を応援するため、卒論発表会を開催します。男女共同参画関連といっても、性別にとらわれない生き方・働き方、多様性の配慮などテーマは様々。仲間と助け合い、励まし合いながら研究に臨んできた成果をみなさんの前で発表します。

日 時	2月9日(土) 13:30～15:30
対 象	どなたでも
参 加 費	無料
申込み	電話またはHPで(申込順)

図書コーナーご案内

図書コーナーは、男女共同参画社会実現のために、情報の力で女性をエンパワーメントすることを目的とした女性問題の専門図書館です。

図書・情報の専門スタッフが、より良い人生をすごしていただくためのお手伝いをします。

女性、男性を問わずに利用ください。

◆場 所 静岡市女性会館 1F

◆利用時間 9:00 ~ 19:00

◆休 館 日

- ・第2、4月曜日
- ・年末年始（12月28日～1月4日）
- ・蔵書点検期間、図書整理日ほか

◆貸出点数

- ・図書、雑誌あわせて5点
- ・CD、カセットあわせて2点まで

◆貸出期間 2週間

◆貸出方法

貸出には図書コーナー専用の利用者登録カードが必要です。

免許証、保険証など公的機関発行の証明書をお持ちくされればその場で発行します。



女性のための総合相談

相談
無料
秘密
厳守

ひとりで悩まないで、まずはお電話を
結婚・離婚、恋愛、夫婦のこと、孤独、暴力・虐待、DV、
職場の人間関係、セクハラ、将来への不安、妊娠・出産、
子育て、母娘のこと、心身の不調…

女性の相談員があなたの気持ちを尊重し、一緒に解決を目指します。
電話相談の事前予約は不要です。まずはお電話ください。

女性会館 相談専用ダイヤル **054-248-1234**

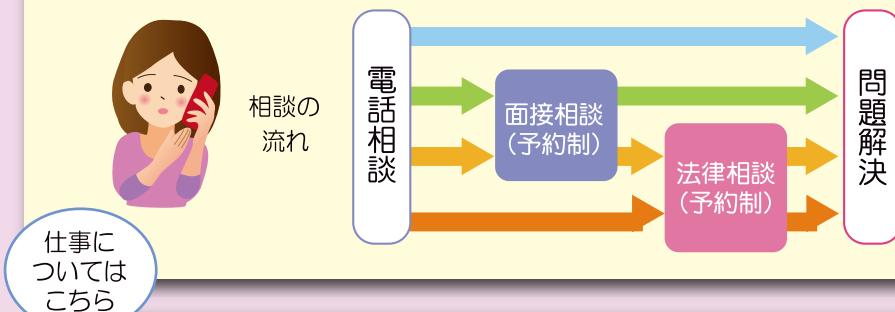
受付時間	火	水	木	金	土
10:00 ~ 13:00	○	○		○	○
14:00 ~ 18:00	○	○	14:00 ~ 20:00	○	

●女性相談員による面接相談（予約制 / 1回50分）●

電話相談のあと、ご希望や必要に応じてご利用いただけます。

●女性弁護士による法律相談（予約制 / 1回30分）●

第1土曜日・第3木曜日 14:00 ~ 17:00



40代以下の女性のための 就職・転職・キャリア相談

面接・事前申込予約制 申込受付日時 同月の1日（1月のみ5日）12:30より

相談日 毎月第3木・金・土曜日 ①10:30 ~ 11:20 ②13:30 ~ 14:20 (50分)

まずはお電話でご予約ください。
事前に相談シートをお送りします。女性会館事務室 TEL 054-248-7330

静岡市女性会館 アイセル21

所在地 静岡市葵区東草深町3-18

開館時間 9:00 ~ 21:30

休館日 第2・4月曜日
年末年始（12月28日～1月4日）

T E L 054-248-7330

F A X 054-246-7833

E m a i l mail@aice121.jp

H P <https://aice121.jp/>

バス

JR 静岡駅北口10番のりば
県立病院高松線
「アイセル21」前下車

徒歩

JR 静岡駅北口より30分
静鉄新静岡駅より20分
日吉町駅より15分



W A V E

発行年月：2018年11月

編集・発行：静岡市女性会館（指定管理者 NPO法人男女共同参画フォーラムしづおか）

